基本目標３　未来の長門へつなぐ「しくみづくり」

活動目標⑦　[　活動財源を確保しよう　]

■現状と課題

地域福祉活動の財源には、自治体からの補助金、委託金をはじめ、会費と寄付金、共同募金配分金などがあります。

近年、世帯数の減少等に伴い、会費や寄付金は著しく減少しています。同様に、長年に渡り長門市の地域福祉活動を支えてきた赤い羽根共同募金も、景気の低迷等により減少傾向にあります。

従来の事業や地域福祉活動の継続、新しい事業に取り組んでいくためには、将来的な活動財源の安定確保が必要不可欠です。新しい活動財源を確保していくための具体的な手段を模索するとともに、従来の会費や寄付金、赤い羽根共同募金についても、住民への周知と啓発活動をさらに強化していくことが課題です。

■具体的な取組

	取組内容	取組チェック表		
		R4年	R6年	R8年
一人一人が取り組むこと	●寄付という参加を知りましょう。			
	●地域福祉活動団体・組織等への会費や寄付へ協力しましょう。			
	●赤い羽根共同募金へ協力しましょう。			
地域みんなで取り組むこと	●地域福祉活動のための財源確保に取組みましょう。			
	●地域福祉活動を進める団体へ寄付の周知・協力をしましょう。			
	●赤い羽根共同募金活動の周知と協力をしましょう。			
	●活用できる助成金を探し、地域福祉活動に役立てましょう。			
社協が取り組むこと	●寄付という参加の周知をします。			
	●個人や企業、各種団体等へ寄付等の呼びかけを行います。			
	●赤い羽根共同募金活動と協働した啓発活動を行います。			

	●会費、寄付、共同募金の使途と流れの図解を図り、自分達の地域、団体の活動につながっていることを周知します。			
	●福祉活動の積極的な PR により、社協事業への理解を促進します。			
	●行政への事業に対する公費補助の要望をしていきます。			
	●新たな収益事業について検討・開発・実施をします。			
	●新しい財源確保の方法を模索します。（ファンドレイジングの検討）			

■５年後の姿

●地域福祉活動に対する寄付や協賛が地域に根付いている。
●地域福祉活動が住民一人一人にとって大切なものであるという意識が地域に根付いている。

■共同募金運動とは？

共同募金運動は、都道府県を単位にして行われています。各都道府県内で共同募金としてお寄せいただいたご寄付は、同じ都道府県内で、子どもたち、高齢者、障害者などを支援する様々な福祉活動や、災害時支援に役立てられます。

共同募金運動の期間は１０月１日から翌年３月３１日までの６か月間で、全国一斉に行われます。

当初「国民助け合い運動」の一環として始まりました。今日（こんにち）では、「じぶんの町を良くするしくみ」として、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域生活課題の解決に取り組む民間団体を応援しています。

また、寄付された方は、所得税や住民税の控除が受けられます。

赤い羽根共同募金